授業研究部11月例会

授業研究部11月例会では、名古屋市教育委員会義務教育 課主任指導主事の犬飼雅人指導主事を講師にお迎えし、「語 彙指導 はじめの一歩」と題して、名古屋市教育課程研修会 (中学校・国語部会)を基にした、語彙の指導についてお話 をいただき、語彙指導の重要性、具体的な方法、教師の役割 について参加者全員で考えました。

実際に、語彙指導を体験するために、以下の流れで活動を 進めました。

<活動の流れ>

- ① 自力で言葉思い浮かべる
- ② 辞書から選んだり、グループで協議ししたりして言葉を書きだす
- ③ 書き出した言葉を、分析する。

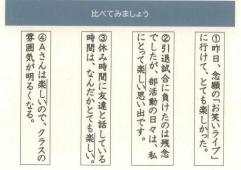
はじめに、「楽しい」という言葉の意味について、(資料 ①)にある四つの文を比較しながら、それぞれどのような意味で使われているのかを個人で考えました。

次に、辞書を使ったり、同じグループの人と協議をしたりしながら、「楽しい」という意味をもつ言葉について付箋に書き出し、その付箋を台紙に貼って言葉を分析する活動を行いました。(資料②)

この活動では、「語彙はネットワークとして相互に関連する体系である」「類義語、対義語、上位語・下位語、抽象語・具体語、語感などの言葉同士の関係を理解する」「比較・分類・関連付けを通じて語彙力を豊かにする」の3点に留意しながら活動しました。そして完成したものが(資料③)です。

(資料③)では、書き出された言葉を、「形容詞」「名詞」「動詞」といった品詞で分類したり、「オノマトペ」「慣用句」で分類したりしています。

最後に、他のグループが作成した付箋の貼られた台紙を見ながら、自分たちとの共通点や相違点、新たな発見について共有しました。(資料④)共有する際には、個人ではなく同じグループの人たちと一緒に、他のグループの台紙を見るようにしました。



<資料①「楽しい」の比較>



<資料②付箋に書き出し分析する活動>



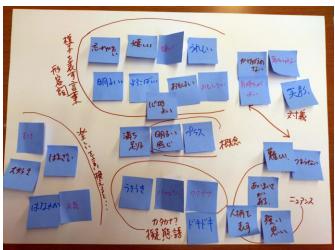
<資料③-1 台紙に貼られた付箋>



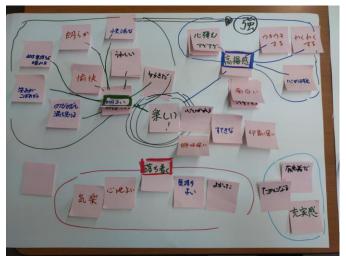
<資料④共有の様子>

最後に、各領域における語彙指導や語彙指導を行うにあたっての留意事項についてお話をいただきました。語彙指導では「意図的・計画的」に行うことが重要であり、辞書の活用や語彙学習の方法の提示を通じて、生徒の思考力・判断力・表現力を高めることが求められていることを教えていただきました。









<資料③-2 台紙に貼られた付箋>

授業研究部は、できるだけ日ごろ先生方が感じている疑問や悩みを解決できる場でありたいと考えています。もし、授業研究部で扱ってほしい教材や分野があれば下記までお知らください。よろしくお願いします。

○ 問い合わせ先:飯田小学校 平野 陽子 TEL:911-7351 mail:hirano7779@nagoya-c.ed.jp

大森中学校 熊谷 太志 TEL:798-2900 mail:kumagai13@nagoya-c.ed.jp

○ 次回例会:令和8年1月20日(火)18:30~ イーブルなごや

※ 令和7年度最後の例会となります